

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月4日	記入者		連絡先	3815
平成18年度部名	消防本部	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
平成19年度部名	消防局	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
事務事業名	消防職員に必要な被服購入事業				
予算上の事務事業名	消防職員に必要な被服購入事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				
施策名	第3施策 消防力の強化				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	「消防組織法第16条の4の2」及び「相模原市消防吏員の制服等に関する規則」				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	内部管理	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何) 服制を統一することにより、市民に消防という身分を明確にするとともに、消防職員の士気高揚、秩序ある組織的活動の確保等の観点から、消防職員が安全に活動できるよう必要な被服を購入し、効率的に消防職員に貸与する。				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	消防活動等で経年劣化した貸与被服等を随時、更新するため被服を購入した。 特に最前線において災害現場活動を行っている救助隊の防火衣の劣化が著しく相模原救助、南救助、田名救助隊に所属する51名分の防火衣を更新するとともに、平成19年度採用職員(21名分)及び異動に伴い職種(例：消防から救助)が変更した職員(44名分)に対して必要な被服を購入した。				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	全国の消防本部で実施している事業である。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	32,762	35,221	44,100	43,448	0
一般財源	32,762	33,239	44,100	43,448	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	1,982	0	0	0
人件費の合計	8,050	8,050	8,050	8,050	0
事業コスト合計	40,812	43,271	52,150	51,498	0
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	消防職員貸与被服購入事業			対象名称 と単位	貸与対象人数(人)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	600	600	700	0	0
対 象 数	600	600	700	700	700
単位あたり経費(円)	0	0	0	0	0
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	毀損分貸与状況		指標式と指標の説明	経年劣化の毀損届数 目標：毀損届見込み数 実績：届出数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	183.0	231.0	262.0		
目標	200.0	200.0	250.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	91.5	115.5	104.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	貸与率（%）		指標式と指標の説明	規則上の貸与年数で全て貸与した場合を100%とし、その貸与率を示した。	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	50.0	50.0	50.0		
目標	100.0	1000.0	1000.0	1000.0	1000.0
目標達成度（%）	50.0	5.0	5.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		平成15年度の財政事情により、規則に定められていたサイクル貸与が実施できなくなり、経年劣化の届け出による貸与方法を実施していたが、対応が困難なため、平成18年度に規則の見直しをするとともに、貸与方法についても、点数制に改める予定。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
消防職員の必要な貸与率を限りなく100%に近づけるため、点数制を導入した後に、その貸与方法について検証を行い、予算内でより良い貸与が行えるよう随時見直しを図っていくべきである。			以前のサイクル貸与方法と平成19年度から実施する点数制による貸与方法の検証結果。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しとする。見直し後の検証を行い、効果的な事業実施を図ること。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			